

“水俣病補償”で激論

水俣市議会 意見書めぐり与野党

三月定例会水俣市議会最終日は二十日午前十時半再開、四十四年度

の当初予算案をはじめ林業構造改

善事業分担金徴収条例の制定、水

俣市国民宿舎条例の一部を改正す

る条例など三十五議案について原

案通り可決した。しかし市営住宅

の家賃値上げ問題など請願三件、

野川地区簡易水道改修費補助など

陳情五件のうち入院助産制度問題

と措置分べん収容施設設立反対のそれぞれ一件を不採択とした。

引き続き注目を集めている水俣

病補償問題を審議したが、この中

で自民党から、水俣病対策市民会

議会長をつとめる日吉フミ子議員

(社会)の議会外活動に抗議が出

され、一時間半にわたり与野党の

間に激論がかわされた。

自民党議員が指摘した点は「日

吉議員はさる一月二十二日の臨時議会で「行なった水俣病補償の早期解決を目的とした政府への意見書に賛成しながら、厚生省の第三者機関設置をめぐる議会外の活動に、意見書の趣旨と反する行動がある」というもの。これに対し日吉議員ら野党各派は「意見書は行政上の指導を要望したものだ。市民会議がチソの責任を追及したり、患者互助会を支援してもかまわぬはずだ」と反論した。しかしこの日は議論は平行線をたどり、結局継続審議とすることになった。

なお同日固定資産評価審査委員に同市陸内二丁目依田光雄氏(四七)を再任した。